

## 草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業提案書要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 事業名	琵琶湖モデルを活用したハロン湾・カットバ島沿岸水域の適切な保全に向けた支援
3. 事業の背景と必要性	<p>カットバ島の沿岸水域は、近年、開発と観光客の増加等により汚濁負荷が増大し、水質汚濁の悪化が懸念されている。</p> <p>滋賀県は琵琶湖の水質改善経験を「琵琶湖モデル」と位置づけ、世界に発信を行なっているが、このモデルをカットバ島沿岸及び同一水域であるハロン湾一帯に適用し、沿岸水域水質の改善に協力することは、当該地にとって非常に有益な取り組みである。</p>
4. プロジェクト目標	産官民の各主体・連携による水環境保全の活動が自立的に動き出し、カットバ島沿岸域を越えハロン湾域まで広がる。
5. 対象地域	ベトナム国ハイフォン市カットハイ県
6. 対象地域を管轄する在外公館	在ベトナム日本国大使館 在ホーチミン日本国総領事館
7. 受益者層（ターゲットグループ）	地元行政（ハイフォン市 DONRE、HACEM、カットハイ県 PC、ハイフォン市 DONRE 海洋島嶼支局）、事業者（カットハイ県都市サービス及び公衆施設管理公社）、地域住民、グリーンカットバ
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カットバ島の排水処理施設を運営・管理するための制度・計画が策定される</li> <li>2. カットバ島の排水処理施設が正常に運用・管理される</li> <li>3. 産官民の各主体によってカットバ島沿岸水域のモニタリングが実施される</li> <li>4. カットバ島での産官民連携の活動が活発化し、グリーンカットバの発言力・周囲の認知が高まる</li> <li>5. ハイフォン市とクアンニン省が行政境界を越えて連携が促進される</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カットバ島の排水処理施設を運営・管理するための制度・計画の策定支援(1-1～1-6の6つの活動に分かれる。)</li> <li>2. カットバ島の排水処理施設の運用・管理の技術的支援(同 2-1～2-3の3活動)</li> <li>3. カットバ島沿岸水域モニタリングの実施に係る支援(同 3-1～3-6の6活動)</li> <li>4. 産官民連携の活動体の活発化・認知度の向上支援(同 4-1～4-4の4活動)</li> <li>5. ハイフォン市とクアンニン省の連携による水域管理の支援(同 5-1の1活動)</li> </ol>
9. 実施期間	(西暦) 2020年3月～2022年2月(2年間)
10. 事業費概算額	49,963千円
11. 日本側実施機関	提案団体：滋賀県 指定団体：(株)KANSO テクノス、(株)日吉、(株)長大、(株)エフウォーターマネジメント
12. 相手国側実施機関	ハイフォン市天然資源環境局、ハイフォン市財務局、カットハイ県人民委員会
II. 応募団体の概要	
1. 団体名(提案自治体名)	滋賀県
2. 活動内容	<p>滋賀県はこれまで様々な機会において、ベトナム国に対して、琵琶湖の環境を保全するための産官学民の様々な取り組み「琵琶湖モデル」を伝えてきた。</p> <p>2015年には本提案事業の前身に当たる平成25年度補正予算の草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)において、本事業で指定団体を務める(株)KANSO テクノスおよび(株)日吉と共に「観光島カットバの水環境改善に向けた協働体制づくりの協力支援」を成功裏に終えただけでなく、クアンニン省での技術協力プロジェクトである「クアンニン省ハロン湾地域のグリーン成長プロジェクト」にも関与しており、琵琶湖モデルによるハロン湾域全体の環境保全に取り組んでいる。</p>

(注：A4用紙 **1枚以内**にまとめてください)